



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場会社名 三重交通グループホールディングス株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 3232 URL <http://holdings.sanco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 直之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ 経理担当部長 (氏名) 北村 亨 (TEL) 059-213-0351  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	41,317	△11.1	1,084	△37.6	903	△36.3	593	△22.0
24年3月期第2四半期	46,489	△3.4	1,737	20.9	1,418	33.4	760	135.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 173百万円(△73.7%) 24年3月期第2四半期 660百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.74	—
24年3月期第2四半期	8.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	141,415	22,563	15.6
24年3月期	140,425	22,753	15.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 22,061百万円 24年3月期 22,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	△2.6	3,500	△20.3	2,700	△25.6	1,600	18.6	18.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	107,301,583株	24年3月期	107,301,583株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	19,279,635株	24年3月期	19,276,725株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	88,023,647株	24年3月期2Q	88,041,949株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、震災復興需要などから内需は堅調に推移しましたが、海外景気の減速により生産や輸出は減少傾向となりました。

このような状況の中、当社グループにおいては、安定収益確保のため事業バランスの再構築を進めるとともに、お客様への「安全、安心、安定、快適なサービスの提供」に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は41,317百万円（前年同四半期比5,171百万円、11.1%減）となり、営業利益は1,084百万円（同652百万円、37.6%減）、経常利益は903百万円（同514百万円、36.3%減）、四半期純利益は593百万円（同167百万円、22.0%減）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### (運輸業)

乗合バス部門では、三重交通(株)が春の特別割引バスカードの販売を強化するなど、バスの利用促進をはかりました。貸切バス部門では、前年同時期における震災の影響による受注減の反動もあり、稼働率が上昇しました。タクシー部門では、需要減少に加え乗務員不足により稼働率が低下しました。

この結果、運輸業セグメントの営業収益は12,961百万円（前年同四半期比511百万円、4.1%増）となり、営業利益は726百万円（同347百万円、91.9%増）となりました。

#### (不動産業)

分譲部門では、主にマンション分譲において、完成在庫の削減に伴う供給戸数の減少により、売上高は減少しました。仲介部門では、減少傾向にあった1件当たりの取引金額がやや持ち直しました。賃貸部門では、前年度に完成・取得した新規賃貸物件が売上増に貢献したほか、ビジネスホテルの宿泊稼働率は高水準で推移しました。建築部門では、震災の影響により完成が遅れた住宅の引渡し計上が前年同時期にあった反動などにより、引渡し物件は減少しました。

この結果、不動産業セグメントの営業収益は12,064百万円（前年同四半期比5,286百万円、30.5%減）となり、営業利益は377百万円（同1,072百万円、74.0%減）となりました。

#### (石油製品販売業)

石油製品販売業では、ガソリン需要の減少や店舗再編によるガソリンスタンド閉鎖の影響により、販売数量は減少しました。また、夏場の仕入れ価格の大幅な上昇に対し売価への転嫁が追いつかず、粗利率は低下しましたが、人件費をはじめとしたコスト削減に努めました。

この結果、石油製品販売業セグメントの売上高は7,761百万円（前年同四半期比234百万円、2.9%減）となり、13百万円の営業損失（前年同四半期営業損失28百万円）となりました。

#### (生活用品販売業)

東急ハンズ2店舗では、恒例の感謝バーゲン「ハンズメッセ」において過去最高の売上となったものの、前年同時期における防災や節電関連商品の売上増に対する反動がありました。一方、外商部門では、新規取引先の開拓や顧客への商品提案を積極的に行い、売上高は増加しました。

この結果、生活用品販売業セグメントの売上高は6,204百万円（前年同四半期比55百万円、0.9%減）となり、営業利益は45百万円（同73百万円、61.8%減）となりました。

(レジャー・サービス業)

旅行部門及びホテル部門では、前年同時期に震災の影響で大きく落ち込んだ春先の旅行者及び宿泊者数が回復しました。ドライブイン部門では、名阪上野ドライブインのリニューアル効果もあり、バスの立寄り台数が増加しました。また、索道部門では、従来からの登山ブームに加え、メディアを活用した各種情報発信に努めた結果、乗車人員が増加しました。

この結果、レジャー・サービス業セグメントの営業収益は4,232百万円（前年同四半期比242百万円、5.4%減）となり、82百万円の営業損失（前年同四半期営業損失174百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末（平成24年9月30日現在）における財政状態は、総資産は販売用不動産の増加等により141,415百万円（前連結会計年度末比989百万円増）となりました。また、負債は短期借入金の増加等により118,851百万円（前連結会計年度末比1,179百万円増）となりました。一方、純資産はその他有価証券評価差額金の減少等により22,563百万円（前連結会計年度末比189百万円減）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、222百万円の収入（前年同四半期比1,332百万円収入減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により、2,985百万円の支出（前年同四半期比1,287百万円支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により、2,048百万円の収入（前年同四半期比499百万円収入増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州債務問題や中国経済の減速など世界経済を巡る不確実性に加え、尖閣問題による中国市場及び対中国交易への影響など、日本経済の先行きには不透明感が増しています。

こうした状況下、当社グループは、各セグメントにおいて引き続き収益確保と経費節減に努め、通期の連結業績予想につきましては、売上高104,000百万円、営業利益3,500百万円、経常利益2,700百万円、当期純利益1,600百万円となる見通しであります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,322,725	2,592,510
受取手形及び売掛金	4,686,409	4,916,908
商品及び製品	1,245,196	1,319,432
販売用不動産	33,595,763	37,266,144
仕掛品	328,294	597,366
原材料及び貯蔵品	231,230	200,744
その他	5,594,032	2,541,782
貸倒引当金	△49,761	△19,757
流動資産合計	48,953,890	49,415,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,228,710	29,276,392
土地	41,671,194	43,018,500
その他(純額)	4,971,801	5,197,160
有形固定資産合計	76,871,706	77,492,054
無形固定資産		
のれん	172	6
その他	495,501	494,516
無形固定資産合計	495,673	494,522
投資その他の資産		
その他	14,155,117	14,064,668
貸倒引当金	△50,881	△50,898
投資その他の資産合計	14,104,236	14,013,769
固定資産合計	91,471,616	92,000,346
資産合計	140,425,507	141,415,478
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,350,388	2,521,121
短期借入金	19,625,000	27,205,000
1年内返済予定の長期借入金	23,843,315	21,936,060
未払法人税等	673,942	454,450
賞与引当金	983,382	1,130,750
引当金	991,834	987,456
その他	9,661,158	10,379,211
流動負債合計	60,129,022	64,614,049
固定負債		
長期借入金	34,787,682	31,551,623
退職給付引当金	1,802,158	1,947,257
引当金	230,662	230,662
資産除去債務	68,877	69,616
負ののれん	57,561	1,979
長期預り保証金	15,522,798	15,506,761
その他	5,073,008	4,929,600
固定負債合計	57,542,748	54,237,502
負債合計	117,671,771	118,851,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	8,216,948	8,216,948
利益剰余金	8,687,265	8,925,211
自己株式	△2,468,734	△2,469,424
株主資本合計	17,435,480	17,672,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,072,543	2,708,037
繰延ヘッジ損益	58,436	△4,940
土地再評価差額金	1,685,229	1,685,229
その他の包括利益累計額合計	4,816,209	4,388,326
少数株主持分	502,045	502,863
純資産合計	22,753,735	22,563,926
負債純資産合計	140,425,507	141,415,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	46,489,197	41,317,967
営業費用		
運輸業等営業費及び売上原価	35,605,100	31,352,700
販売費及び一般管理費	9,146,311	8,880,480
営業費用合計	44,751,411	40,233,180
営業利益	1,737,786	1,084,787
営業外収益		
受取配当金	155,724	143,804
負ののれん償却額	70,776	55,415
その他	108,333	185,351
営業外収益合計	334,834	384,571
営業外費用		
支払利息	636,024	540,406
その他	18,541	25,270
営業外費用合計	654,566	565,677
経常利益	1,418,054	903,681
特別利益		
固定資産受贈益	1,426	13,949
固定資産売却益	8,578	7,544
その他	11,485	373
特別利益合計	21,490	21,867
特別損失		
固定資産処分損	37,207	81,500
投資有価証券評価損	55,737	100,853
その他	37,854	10,295
特別損失合計	130,799	192,649
税金等調整前四半期純利益	1,308,744	732,899
法人税等	527,684	131,185
少数株主損益調整前四半期純利益	781,060	601,714
少数株主利益	20,174	8,245
四半期純利益	760,885	593,468

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	781,060	601,714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,709	△362,585
繰延ヘッジ損益	△143,334	△63,376
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,273	△1,920
その他の包括利益合計	△120,898	△427,882
四半期包括利益	660,162	173,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	639,987	165,585
少数株主に係る四半期包括利益	20,174	8,245

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,308,744	732,899
減価償却費	2,228,060	2,093,566
投資有価証券評価損益(△は益)	55,737	100,853
退職給付引当金の増減額(△は減少)	49,934	145,098
受取利息及び受取配当金	△161,533	△147,353
支払利息	636,024	540,406
売上債権の増減額(△は増加)	943,330	3,281,676
たな卸資産の増減額(△は増加)	△89,405	△3,987,462
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,850,611	△1,711,670
その他	△970,961	36,111
小計	2,149,320	1,084,126
利息及び配当金の受取額	160,239	146,218
利息の支払額	△610,154	△491,374
法人税等の支払額	△144,279	△516,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,555,125	222,240
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12,600	△7,800
定期預金の払戻による収入	16,556	23,000
固定資産の取得による支出	△4,706,793	△2,515,791
固定資産の売却による収入	13,235	10,913
投資有価証券の取得による支出	△6,045	△339,187
投資有価証券の売却による収入	22,031	5,706
投融資による支出	△24,951	△144,689
投融資の回収による収入	80,068	25,791
預り保証金の受入による収入	675,684	276,180
預り保証金の返還による支出	△327,652	△321,763
その他	△2,370	2,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,272,837	△2,985,565
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,740,000	7,580,000
長期借入れによる収入	3,025,000	9,200,000
長期借入金の返済による支出	△5,925,985	△14,343,314
自己株式の売却による収入	60	—
自己株式の取得による支出	△280	△690
配当金の支払額	△266,649	△355,522
少数株主への配当金の支払額	△4,855	△7,428
その他	△18,481	△24,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,548,809	2,048,309
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,168,902	△715,015
現金及び現金同等物の期首残高	4,843,240	3,279,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,674,338	2,564,794

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額 (注)2
	運輸業	不動産業	石油製品 販売業	生活用品 販売業	レジャー・ サービス業	計		
売上高								
外部顧客への売上 高	11,655,702	17,144,070	7,188,896	6,259,822	4,240,706	46,489,197	—	46,489,197
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	794,881	206,920	807,087	—	234,083	2,042,973	△2,042,973	—
計	12,450,583	17,350,990	7,995,984	6,259,822	4,474,790	48,532,170	△2,042,973	46,489,197
セグメント利益又 は損失(△)	378,680	1,449,975	△28,070	118,573	△174,580	1,744,579	△6,793	1,737,786

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,793千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額 (注)2
	運輸業	不動産業	石油製品 販売業	生活用品 販売業	レジャー・ サービス業	計		
売上高								
外部顧客への売上 高	12,149,670	11,870,367	6,972,326	6,204,124	4,121,478	41,317,967	—	41,317,967
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	811,975	194,133	788,722	—	110,998	1,905,829	△1,905,829	—
計	12,961,646	12,064,500	7,761,049	6,204,124	4,232,477	43,223,797	△1,905,829	41,317,967
セグメント利益又 は損失(△)	726,604	377,052	△13,942	45,332	△82,301	1,052,745	32,041	1,084,787

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額32,041千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。